

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:平成 31年 3月 1日

公表:平成 31年 3月 20日

事業所名 バロ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		利用者が自由に使える部屋は3部屋あり、友だちと過ごす時間も一人で過ごす時間も大切できるようにしている	
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	玄関から入り口までは階段であるが、室内に段差はなく、1階は車椅子が通ることができるスペースがある	段差があり、介助が必要な利用者に対しては職員が必ずつくことにする
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		業務改善の必要性を感じた際に、その都度職員会議をし話し合っている。また、職員会議に参加できなかったスタッフには個別に報告をしている	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後検討していく
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		希望者が研修に参加し、その報告を他のスタッフへもしている	今後多くのスタッフが研修に参加できるように調整中
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		アセスメントは行っているが、ツールの再検討が必要
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		月ごとに利用者も参加してミーティングを行い、立案している	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		日々の活動の中で個々に合わせて行っている	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		前日の様子をパートスタッフに報告した上で、その日の流れを確認している	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○				

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		必要に応じて学校との情報共有を図り、スタッフ間の連絡も密にするよう心がけている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	対象となる利用者がいない	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	対象となる利用者がいない	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		研修等の機会があればできる限り参加し、連携をとりやすくする
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		公園へ行った際等、仲良くなった小学生と一緒ににおにごっこをしたり、話をしたりしている	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		今年度は担当ではなかったため不参加であるが、今後求めに応じて参加する
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時や面談時に話をしている	
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		希望者がいないため行っていないが、ニーズがあれば準備や検討を進めていく
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明をしている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		必要に応じて話す機会を設けている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者会を開催している。また、保護者同士の交流会も開催している	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情解決制度を設けている。苦情申し入れに対し、随時対応し職員間での問題共有を行い今後につなげていく	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月の活動概要をカレンダーにして配布している	
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		必要に応じて絵や写真などを使い	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		地域住民との交流の場となる行事等現在検討中

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		マニュアルの再度検討が必要。また、保護者に対して周知できていないため、周知していく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		職員会議で話し合っている	研修に参加できるよう調整中
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○	対象となる利用者がいない	必要に応じて検討する
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	対象となる利用者がいない	必要に応じて検討する
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○		毎日会議で確認をしているが、フォーマットの見直しが必要